

○議案についての説明原稿

皆さま方には、平素より市政運営にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

それでは6月8日開会の裾野市議会6月定例会に提案いたします議案につきまして、私からご説明申し上げます。

提案いたします議案は、報告案件4件、条例案件8件、補正予算5件、その他2件の合計19件であります。

それでは、私からは先ず、第56号議案 令和2年度裾野市一般会計補正予算(第4回)につきまして、ご説明申し上げます。

第56号議案 令和2年度裾野市一般会計補正予算(第4回)につきましては、既定の予算総額に5億9,200万円を追加し、歳入歳出予算総額を271億9,600万円とするものであります。

歳入の主なものとしましては、国庫支出金が2億748万8,000円の増額、県支出金が664万1,000円の増額、繰入金が9,966万1,000円の増額、市債が2億6,620万円の増額などであります。

歳出の主なものとしましては、商工費が1,352万円、土木費が3億984万9,000円、教育費が2億4,851万9,000円の増額などであります。

主な事業につきましてご説明申し上げます。

お手元の資料No.2の「令和2年度裾野市一般会計補正予算(第4回)の概要」をご覧ください。

まず「住みたいまち裾野のまちづくり“共生”」では、「裾野駅周辺整備事業」として、国の交付金を活用して、桃園平松線や裾野駅前広場築造事業を推進します。

次に「すべての起点となるひとづくり“共育”」では、「小中学校校内ネットワーク整備事業」として、GIGAスクール構想の実現に向け、校舎内の情報通信ネットワークの整備を行います。

次に「まちやひとを豊かにする産業づくり“共栄”」では、「開発可能性調査事業」として、工場用地の開発を促進するため、県の補助金を活用して、適地に対する基本調査を行います。

以上が一般会計補正予算の概要であります。

次に、第 48 号議案 裾野市特別職の職員の給与の特例に関する条例を制定することにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が地域経済や市民生活等に多大な影響を与えていることに鑑み、市長、副市長及び教育長の給与の額を減額するため、本条例を制定するものであります。

次に、第 50 号議案 裾野市保育所条例の一部を改正することにつきましては、現在指定管理者にて運営されている裾野市立御宿台保育園を令和 3 年 4 月 1 日より民営化することに伴い、本条例の一部を改正するものであります。

次に、第 55 号議案 裾野市老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例を廃止することにつきましては、裾野市老人デイサービスセンターを民営化及び閉鎖するため、本条例を廃止するものであります。

以上で、議案関係の説明を終わります。